

現状と課題

① タブレット等のICT機器を活用した学習指導方法の研究・開発等による習熟度や学習環境等に応じた教育の推進

【現状】

- 全公立学校で児童生徒1人1台端末等の整備が完了
- 距離的制約を超えた遠隔授業、個々の特性に応じた指導などへの活用開始
- 大学等と連携したICTを効果的に活用するための共同研究等が進展
- 県と市町村が連携して取り組むための「岩手県学校教育ICT推進協議会」を設置

【課題】

- 教員のICT活用指導力の向上(R3文科省：学校における教育の情報化の実態調査)

ICT活用状況	岩手県	全国
教員のICT活用指導力	69.0%	75.3%

- 児童生徒のICT活用率の向上(R4文科省：全国学力・学習状況調査)

児童生徒への質問		岩手県	全国
前年度までに受けた授業でタブレット等を週3回以上程度使用したか	小	37.9%	58.2%
	中	35.0%	50.9%

② 幼児・児童・生徒の学びや生活に関するデータを活用した一人ひとりに応じた学習指導、生徒指導等の充実

【現状】

- 諸調査の一部デジタル化等の実施と、調査の分析データ等を踏まえた学校指導等を開始
- 児童生徒の情報を集積、連携する全県統一の統合型校務支援システムの導入の合意
- 国において、学びの保障オンライン学習システム(MEXCBT)によるテストや、全国学力・学習状況調査等のCBT化の動きが加速

【課題】

- 諸調査のデジタル化の推進と結果データ等を分析、活用方策の確立
- 全県統一の統合型校務支援システムの円滑な導入と効果的な運用

ICT活用状況	岩手県	全国
統合型校務支援システム整備率	39.5%	81.0%

(R3文科省：学校における教育の情報化の実態調査)

③ 教育用AIの共同開発など産業界をはじめとした関係機関との連携による教育分野へのSociety5.0に対応した技術の導入促進

【現状】

- 大学等との連携によるAIドリルの導入実証等を実施

【課題】

- 教育分野におけるSociety5.0に対応した技術(IoT・AI等)の導入可能性等の調査・研究

今後の展開

① ICT機器を活用した学習指導方法の研究・開発等

- GIGAスクール運営支援センター等による教員のICT活用を促進するための支援体制を充実
- 大学等との共同研究を踏まえたICT(デジタル)とこれまでの実践(リアル)の最適な組み合わせによる授業づくりを全県展開

② データを活用した学習指導、生徒指導等の充実

- 国の動向等を踏まえた諸調査へのCBTの導入検討
- 全県統一の統合型校務支援システムの導入・運用

③ 教育分野へのSociety5.0に対応した技術の導入促進

- AIドリルの導入実証結果の検証
- 教育分野におけるSociety5.0に対応した技術(IoT・AI・ビッグデータ等)の導入可能性等の情報収集

令和5年度の具体的な取組

① タブレット等のICT機器を活用した学習指導方法の研究・開発等による習熟度や学習環境等に応じた教育の推進

- 新** 各高校の探究的な学びをSTEAMの視点から深め、データの収集・分析・利活用に基づく課題解決型学習を推進(探究・STEAM教育推進事業費 16百万円)
- 拡** 全県的なICT活用のけん引役となる学校DX支援リーダーの配置(学校教育ICT活用促進事業費 4百万円[政プロ費])
- GIGAスクール運営支援センターを核としたICT活用促進の全県展開(ヘルプデスク・訪問指導の実施、地域単位でICT活用の核となるICT活用推進員の認定、大学等のアドバイザー派遣)(学校教育ICT活用促進事業費 27百万円[政プロ費])
- 児童生徒がICT機器を安定した環境で使用できるようネットワーク回線の増設等(いわて教育情報ネットワーク運営費 336百万円)
- 総合教育センターから小規模校への教育課程内の授業配信(遠隔教育ネットワーク構築事業費 5百万円)

② 幼児・児童・生徒の学びや生活に関するデータを活用した一人ひとりに応じた学習指導、生徒指導等の充実

- 全県統一の統合型校務支援システムの導入(学校教育ICT活用促進事業費 51百万円[政プロ費])
- 児童生徒の「運動」「食」「生活」習慣を総合的に支援する新チャレンジカードをベースとしたサポートシステムの検討・研究(60プラスプロジェクト推進事業費 2百万円)

1 子どもたちに必要な資質・能力の育成に向けたICT機器の整備が加速

- 全県立学校で無線LAN、大型提示装置、児童生徒1人1台端末等のICT機器整備が完了(R2~3)
- 県内市町村立小中学校で全児童生徒1人1台端末の整備が完了(R2~3)

県内公立学校ICT機器整備状況	R2.3.1	R4.3.1
PC1台当たりの児童生徒数	4.6人	0.9人
普通教室の無線LAN整備率	28.5%	92.6%
普通教室の大型提示装置整備率	27.1%	58.3%

【出典:学校における教育の情報化の実態調査(文科省)】

- 「岩手県学校教育ICT推進協議会」を設置し、県と市町村が一体となった全県推進体制を整備(R2 第1回開催、R3~年3回開催)

2 ICT機器やデータを活用した新たな学習指導の取組が進む

- 「ICTを使ったグループ等での考えの共有」や「小テストの端末での配信」等の新たな学習や特別支援学校では障がい特性に応じた指導への活用がスタート
- 諸調査の一部デジタル化等より、個々のデータを学習指導等に活用
- 教員の働き方改革につながる「統合型校務支援システム」の全県導入の合意



3 教育の質の保証と学ぶ機会の保障に向けた遠隔教育が進む

- 新型コロナウイルス感染症に対応するため、欠席等となった際の授業や課題配信等のオンラインによる指導が徐々に進展
- 総合教育センターから小規模な県立高校5校に対し、各校1~2教科の遠隔授業の配信をスタート

